

ユーラシアンホットライン

サシマコム来日特別公演の成功にこころから御礼申し上げます

みなさまの絶大な御支援のもとに開催させていただいた特別公演は東京、川口、新潟県村上市、新潟県岩室温泉の各会場で好評を頂き、おかげさまで大きな成功を収めることができました。約半年に及ぶ準備の当初から物心両面にわたり御支援頂いたみなさまに厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

事業の成果、決算の概要を御報告致します。今後の御支援を御願い申し上げます。

1. 観客及び収支について

①観客数

3/27 近江楽堂	105名	3/29 川口リリア	126名
3/31 村上市	110名	4/01 高島屋	51名
		合計	392名

②収支決算

収入金額		支出金額	
協賛金	272,000	招聘・滞在費	1,375,000
広告	200,000	企画製作費	661,000
チケット	762,000	新潟公演旅費等	145,000
国際交流基金助成	610,000	広報等経費	176,000
特別協賛金等	676,000	事務局経費	163,000
合計	2,520,000	合計	2,520,000

アムール・沿海州エコカルチャー旅行
この夏ツングース系少数民族ナナイ、ウデゲの村を訪ねます。日本人に一番近い先住少数民族との交流協力活動を今後一層活発化します。大自然を実感したい方、民族文化に関心のある方、親睦交流、協力活動に興味のある方どうぞご参加ください。
次号で詳しい募集要項をお届けします。ご希望の方ご紹介ください。

2. 演奏内容、お客さまの反応等

サシマコム来日特別公演を企画するにあたり、実行委員会は三つの意義を強調しました。

①歴史的、宗教的、民族的にさまざま音楽的蓄積を持つ、ブハラ伝統音楽・楽器は日本人に新鮮な感動をもたらし、楽しませてくれるものになるでしょう。

②中学校の音楽教育が西洋一辺倒から、世界の諸民族の音楽を対等に見る音楽教育に変わろうとしている今、サシマコムの演奏は諸民族の音楽を知る上からも、日本音楽の源流を探る上からも積極的な意味をもつと考えられます。

③中央アジアの人々の日常の暮らしや文化を知ってもらい、民族、宗教、国家を超えて平和に共存する道を探るきっかけのひとつにできるのではないかと。

これら、三点に答える事が出来たでしょうか。

伝統楽器のソロ演奏やアンサンブル、同じ弦楽器を擦弦と撥弦で弾いたり、コミカルな民俗的な歌と踊りなどで彼らの多彩な音楽的伝統を堪能していただいたのではないのでしょうか。また、バイオリンの起源と言われるギジャックの演奏は繊細で緻密な奏法でまさにバイオリンを彷彿とさせる音を奏で、アンコールで弾いたピバルデイ、カリнкаは拍手喝采を受けました。(川口、新潟・村上市、新潟・岩室温泉)

そして、演奏を通じて暮らしや文化の一端を知ることでも出来ました。彼らの着用した民俗衣裳や会場で頒布したグッズなどで、より多くの事柄を知る事が出来た。

東京オペラシテイ近江楽堂でのアンコールの際の不手際など未だ未熟で、準備不足の面もあったと思いますが、全体として、当初の企画意図をまっとうし、観客の皆さんに楽しんで頂いたのではないのでしょうか。ありがとうございました。

共催頂いたウズベキスタン大使館、近江楽堂、川口リリアの関係者、そして、公演を引き受けて頂いた村上市商人会、岩室温泉高島屋、協力頂いた玉川文化財研究所をはじめとする多くの団体に厚くお礼申し上げます。

協賛金への御協力、チケット販売への多勢の御協力、リーフレットの活用を引き受けて下さった機関や個人の方々、会場の設営や受付、ステージサポートに力を貸して下さった方々に厚くお礼申し上げます。

観客数約400名。ユーラシアの音楽芸能を知って頂き、日本音楽の源流を探り、大いに楽しんでもらい、日常の暮らしや文化の一端にも触れてもらうことも出来たと考えます。その意味で音楽的、社会的に、また財政的にも成功したと考えております。

クラブでは今年度も引き続きユーラシア、シルクロードの音楽芸能を紹介して楽しんでいただく企画を計画しております。みなさまの引き續いての御支援を御願い申し上げます。

特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ

理事長 大野 遼

ユーラシアンクラブサシマコム特別公演実行委員会

<2002年度事業計画>—理解、親睦、協力事業の拡充—

「ユーラシア紛争地特別フォーラム」(3月9日)に続いてウズベキスタン・ブハラ民族アンサンブルの特別招聘公演(3月26日～4月3日)と、浮沈の激しかった昨年度のクラブの活動の最後を締めくくる催しが終わりました。いずれもクラブのボランティアスタッフが半年がかりで準備した努力が報われる成果をあげることができたと思います。国家民族宗教を超えて理解親睦協力の促進を図るのがクラブの目的ですが、10年、20年と続けながら、目先の利害を超えた民族の共生につながる人間関係が育つのが希望です。毎週のミーティングを続けながら、無理なく、楽しく、活動が拡充できるよう務めてまいりたいと思います。4月に入り、「2002年度ユーラシアンクラブ事業計画」を議論、活動の方向について別記のように合意しました。ご理解、ご協力をお願いします。

I クラブ運営の改善

- ・ 「フォーラム」実行委員会のミーティング及び交流芸能実行委員会のミーティングを二本柱に、理解親睦協力の催しを調整する。
- ・ ニュースレター、ホームページへの情報提供活動の態勢を整備する。
- ・ ボランティア会員、サポート会員、クラブ事務所維持協力者を募集する。

II 理解促進事業

- ・ ホームページの拡充を通して「ボイスオブユーラシア事業」を軌道に乗せる。
- ・ <フォーラム事業>
 - ①「紛争地フォーラム」事業の継承発展を図る。
 - チェチェンに学校をつくる活動を支援する
 - チェチェン子供舞踊団招聘準備を進める
 - マシジド大塚を通じた、医療支援等に協力する
 - 7月6日に第2回フォーラムを開催する
 - 紛争地の背景となる情報のセレクション、提供活動を進める
 - ②音楽芸能公演等を通じた理解促進事業を実施する
 - 「サシマコム公演」鑑賞者の協力を要請し、年4回の公演事業を計画する
 - 1 7月、「シルクロード舞姫の競演」
 - 2 10月、ユーラシア共鳴弦の系譜
 - 3 1月、「若手演奏家ソロコンサート」
 - 4 3月、「ユーラシア音楽芸能フェスティバル」
 - ③「ユーラシア言語文化塾」
 - 最低催行人数3人で実施。ウイグル、モンゴル、ウズベク、カザフ、イラン、パキスタン、アゼルバイジャン、カルムイクア等
 - 民族料理教室、歌謡教室も可能なら実施

III 親睦促進事業

- ・ 留学生懇話会を開催する。さまざま民族の留学生が一堂に会して情報交換、交流する。
- ・ クラブ主催の交流事業の実施。高尾山ハイキング、海水浴、キャンプ・合宿等。
- ・ 親睦旅行の実施(5月ウズベキスタン、8月アムール・沿海州、11月ウイグル等)

IV 協力促進事業

- ① 沿海州民族村の交流協力拠点整備事業
シカチアリヤン村のキャンプに交流施設を整備する
- ② 結核性骨髄炎で病床にあるペーチャ君の援助について可能性を探る
- ③ 留学生への日本文化(書道、剣道、茶道、華道等)紹介
- ④ アルパイト、ホームステイ等の紹介
- ⑤ クラブのパソコンを使ったインターネットカフェ提供

V その他

- ・ 随時、事務局及びミーティングで提案され、実施可能な事業を行うこととする。

サシマコム来日特別公演お礼とユーラシア・コンサートへの協力のお願い

2002年4月

特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 理事長 大野 遼
ユーラシアンクラブ サシマコム来日特別公演実行委員会

サシマコム来日特別公演をご傾聴いただきありがとうございました。

厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、東京オペラシテイ近江楽堂、川口リリア、新潟村上市、新潟岩室温泉で開催したコンサートには合わせて約400名の方々にご参加頂きました。

演奏内容についても概ね好評を得ることが出来たと考えております。私どもが当初思い描いていた中央アジア・シルクロード・ブハラのような民族、宗教、文化が積み重なっている音楽芸能を知って、楽しんで頂き、あわせて彼らの日常的な暮らしぶりや文化の一端に触れていただく事が出来たでしょうか。

もちろん、なおいくつかの改善すべき課題が残されていることも事実です。

私どもでは、課題を改善しながら今後ともユーラシア・シルクロードの音楽を日本音楽とのかかわりを探りながら紹介する事業を進めたいと考えています。

つきましては、関心や興味をお持ちの方にボランティア・スタッフとして本年度以降の音楽芸能事業にご参加、ご協力頂き展開したいと思っております。今年度計画している概略は以下の通りです。

シリーズタイトル『悠久のユーラシア 音と舞の旅』(仮題)

- 7月 『シルクロード舞姫の競演』ウズベキスタン、モンゴル、ウイグルの女性舞踊の競演。3人のソロの踊りとセッションをお楽しみ頂く予定です。
 - 10月 『ギジャックと馬頭琴の競演』ユーラシア中に広く分布するギジャックをウズベキスタンのイスマトフさんが、モンゴルの伝統楽器馬頭琴をライ・ハスローさんが奏でる予定です。
 - 3月 『ウイグルのソリスト3人の競演』ラワップ奏者第一人者ウメル・ママトットさん、タンブル奏者アブライテイさん他の競演を考えています。
- まだアイデア段階ですので、企画段階からみなさまのご参加をお願いできれば幸いです。

以下、御協力頂くボランティア・スタッフのおもな仕事は下記の通りです。

- 企画原案作成 コンサート企画をご一緒に
- 広報活動 HP作製、媒体提供文書作成、発行 宣伝リーフの作成など
- チケット販売 チケット販売活動 リーフ配置活動など
- ステージサポート等会場メイク 受付、観客誘導、ステージサポート、ビデオ撮影など

サシマコム来日特別公演へのご参加に感謝申し上げますとともに、上記ボランティア・スタッフについてご検討賜りたく御案内申し上げます。御問い合わせは電話/ファックス 03-5371-5548 E-MAIL PAF02266@nifty.ne.jp まで御願い申し上げます。

新潟公演道中記

3月31日午前10時過ぎ、10人乗りのワゴンに180cm級の男性5人と女性2人それに大野さんと運転手の私計9人と楽器、舞台衣裳などを満載し、ぎゅうぎゅうの状態で巣鴨を新潟県村上市に向け出発した。日曜日、外環から関越に入るには、必ず渋滞があると覚悟をしていたが、全くなくスムーズで、これは不況の深刻さの表れだろうかと思ったりした。

塩沢で昼食をかねて大休止。それぞれに天ぷらそばなどを自販機で買ってもらい、魚野川を眺めながら屋外での食事。大野さんが作った特大のおにぎり、野菜炒め、ゆで卵などをあやしい箸使いでほおぼりながらも楽しいひとときを過ごした。

関越を抜け日本海沿いに村上市に向かう。途中日本海岸で小休止、強い風に煽られながら海を眺めた。年々小さくなり、深刻な塩害をもたらしているウズベクのアラル海を思い、どんな感慨をもっただろうか。

村上市では料亭『新多久』が会場である。地元の商人会が中心になり主催していただいたが、準備期間がわずか10日間しかなかったので、果たして何人集まってくれるか、主催者も契約を担当した私も不安だった。ところが幕を開けて見ると用意した座蒲団が足りなくなるほどの盛況ぶりで、大安心。予想をはるかに超えて110名のお客さんだったという。代表者の吉川氏や関係者の御努力に感謝申し上げます。

わずかなりハーサル時間しかなかったが、本番も大変良くでき、お客さんもステージと一体になって、アンコールでビバルディとカリンカを演奏したときにはもう拍

手が鳴り止まないほどだった。そのあとの楽器や日用小物などのグッズの展示頒布では、興奮覚めやらぬお客さんが殺到し、頒布終了まで45分間も掛かってしまい、商人会との会食が大幅に遅れてしまった。ここまで観客を興奮させたのは、演奏もさることながら、大野さんの話術のうまさもあったと思う。(東京よりかなり向上と御見受けした)

翌日商人会のメンバーの店などを訪問したが、コンサートのことやNHKテレビ放映のことが話題になった。サシマコムメンバーは商店の店先にある囲炉裏に関心を示し、プハラにも炬燵があるというって親近感を覚え、驚いた様子でもあった。

村上市を後にして、岩室温泉に向かった。会場の高島屋さんに入る前に、開瀬海岸で昼食を摂った。みなそれぞれ好みのものをとメニューを廻したが、何故か全員味噌ラーメン。どうもこれは、サシマコムと一緒にマンションに泊まり込んでいる、大の麺好きの大野さんの薫陶の賜物だろう。

高島屋は高級旅館であり、見事な竹林のある広い庭をライトアップしてステージと一体化して使わせて頂いた。ライトアップした竹林の木陰から3人の演奏家が民族衣裳を身に着けカルナイ、スルナイなどのラッパを鳴らしてのオープニングは意表を突いた十分なインパクトをもたらした。ここでも、観客とステージが一体化し、特にドイラ、ギジャックの演奏に拍手が鳴り止まない状況だった。

新潟公演は他の共演者がなくサシマコムだけの演奏だった。しかし、ソロの演奏にしても、コミカルなアンサンブルにしてもあるい

高橋 一夫

は聞き入り、あるいは笑いを誘い全体として楽しいステージを演出できたと思う。特に熟練した技術とインパクトのあるドイラの演奏、バイオリンの起源という説明を納得させる繊細で高く澄んだ音色、訓練を積んだ緻密なギジャックの演奏に酔ったといっても過言ではないと思う。

2日昼頃演奏旅行を終え、無事巣鴨に到着した。早速、富島君や田代さんが駆けつけ、いろいろと面倒を見ていただいた。村上市に同行頂いた山田さんにはなにからなにまで御世話になった。今回はいろんな方にさまざま御世話になって実現できたことを痛感している。改めて御礼申し上げます。

ギジャック雑感 イスマトフ团长によるとギジャックのウズベクの演奏人口は極めて多く、数え切れないと言う。各種のコンクールもあり、演奏会も盛んだそうだ。ギジャックの分布は西はトルコからアルメニア、アゼルバイジャン、トルクメニスタン、ウズベキスタン、キリギスタン、カザフスタンを経て東はウイグルに及んでおり、現在でも活発な演奏活動を見られるという。実にユーラシアを横断していることになる。ちょうどチュルク語族の分布に重なる事になりそうだ。私は、今回紹介されるまで、バイオリンの起源とも言われる歴史的な楽器が、こんなにも広くユーラシア各地で使われている事を全く知らなかったことに大変驚いている。

クラブのボランティア会員、サポート会員を募集しています。気楽にご連絡ください。サポート会員は年間1万2千円です。ご協力お願いいたします。

サシマコムの公演を鑑賞して

余野 桃子

私は近江楽堂で行われた公演を鑑賞しました。受付を掛け持ちしながらだったので、出たり入ったりバタバタしていたのですが、大変すばらしい公演でした。「初めてなのに、懐かしい」というのはかつて韓国観光のキャッチフレーズでしたが、中央アジアの音楽を生で聞くのは初めての私が、サシマコムの演奏を聞いて真っ先に思い浮かべたのはこのフレーズでした。初めは非常に異国情緒あふれる音楽だ、と感じるのですが、次第に何となく懐かしい気持ちになりました。やはりシルクロードをとって日本に楽器、音楽が入ってきたからでしょうか。馬頭琴などとのセッションも非常に素晴らしかったです。最後になりましたが、会場まで足をお運びいただいた皆様、本当にありがとうございました。今後もユーラシアンクラブの公演や催しにご来場いただけますようお願い申し上げます。

「良かった」と、次のステップに弾みに

田代 良子

「ありがとう」「とても素晴らしかったわ。またご案内頂戴ね」…終演の会場で顔を合わせた友人たちの一言。この半年間何とか成功させたいとの一念で、会員皆さんと力を合わせてきた苦労や不安を吹き飛ばし、大きな喜びが心の中にムクムクと湧き上がり、「良かった」と、次へのステップに弾みをつけた。川口リリア、村上市、岩室温泉、と続く公演も尻上りに好演となり、それぞれの会場のお客様に喜ばれ、「またぜひご案内ください」の声として帰ってきたことはスタッフ一堂にとって、何よりの励ましでした。省みれば、K区と共催の大イベントの一方的

な助成金返上、企画中止。ユーラシアンクラブ一堂にとって大変な大ショックで、一時は立ちあがるのも危ぶまれる消沈状態。そこに9/11のテロ事件が起こり、この時期「だからこそうちのクラブで一般方々と何かを訴え、何かを語り合えるのでは…との提案に「紛争地フォーラム」を起こし、そして残されたサシマコム公演を何とか実現しよう…と、資金ゼロからの出発に不安を一杯抱えながらも、有志の皆さんと知人友人を頼りに「ご無理」しようちのお願いをして回った。幸いに快く引き受けてくださり、ご協力いただいたことは何よりも有難く、元気づ

けられました。しかし、順風満帆とは行かず、その時々、一喜一憂の繰り返しながらも乗り越えられたことは機運にも恵まれていたと思う。

若い会員の方々の積極的な参加はクラブの底力につながったのでは…。

フォーラムも公演も次の行動へと一歩を踏み出し、一般の方々に愛されるクラブへと成長していきたいと思う。

多くの方々のご支援、会場、宿泊施設等々のご提供、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

◎ ウズベキスタンの加藤九祚先生へベルトコンベア搬送協力者

ウズベキスタン共和国テルメズで発掘調査中のカラテベ遺跡の作業軽減のためベルトコンベアが23日、大阪に搬送されました。26日の関空発タシケント行きウズベキスタン航空で無償空輸されます。今回の搬送でお世話になった方々は下記のとおりです。30日大野が現地入りし、稼働に必要な情報を提供する予定です。ご支援ありがとうございました。

- (ベルトコンベア4台の寄贈) 玉川文化財研究所代表戸田哲也
- (搬送・梱包協力) アイワ軽急社長樋口直正
- (コンベア作動指導) 京浜リース代表水原繁、仲田技建代表仲田俊晴
- (搬送費協賛団体) 中央アジア研究所、テルメズ(中央アジア) 仏跡発掘調査会後援会
- (搬送協力者) 田中哲二・中央ユーラシア調査会代表幹事、ウズベキスタン航空支配人アリシエル
- (空輸支援政府・機関) ウズベキスタン外務省、ウズベキスタン大使館、ウズベキスタン航空、スルハンダリヤ州、

(発行) NPO 法人ユーラシアンクラブ (発行人) 大野遼 (編集人) 井出晃憲
住所: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-13-2 第一広田ビル
電話/ファックス 03-5371-5548 E-mail: PAF02266@nifty.ne.jp
homepage: <http://homepage1.nifty.com/EURASIANCLUB/>